

第 196 回沖縄県新型コロナウイルス感染症対策本部会議

議事概要

日 時：令和 5 年 2 月 2 日（木）11:00～12:00

場 所：県庁 6 階 第 1・2 特別会議室

・会議の概要

<報告事項>

- ◇ 県内における新型コロナウイルス感染症の感染者数や広がり状況、医療提供体制等について、それぞれ所管する本部員から報告があった。

<議題事項>

- ◇ 沖縄県対処方針の変更について議論した結果、現行の対処方針を一部変更し、期間延長することとした。

<その他報告事項>

- ◇ 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対応方針について【令和 5 年 1 月 27 日政府対策本部会議決定事項】総括情報部より報告があり、今後の見通しについて情報共有を行った。
- ◇ 新石垣空港における国際線チャーター便就航について、土木建築部より報告があった。

1 参加者

玉城 知事、照屋 副知事、池田 副知事、島袋 政策調整監、嘉数 知事公室長、
宮城 総務部長、儀間 企画部長、金城 環境部長、宮平 子ども生活福祉部長、
糸数 保健医療部長、崎原 農林水産部長、砂川 産業雇用統括監、
宮城 文化観光スポーツ部長、島袋 土木建築部長、名渡山 会計管理者、
半嶺 教育長、我那覇 病院事業局長、松田 企業局長、
喜屋武 警備第二課長 宮里 感染対策統括監、
テレビ会議システム利用：木村 宮古保健所長、比嘉 八重山保健所長

2 報告事項

- (1) 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけの変更等に関する対処方針について【その他報告事項①】

➤ 総括情報部より説明があった

- ✓ 新型コロナウイルス感染症の感染症法上の位置づけとしては、オミクロン株とは大きく病原性が異なる変異株が出現するなどの特段の事情がない限り、5 月 8 日から同法の新型インフルエンザ等感染症に該当しないものとし、5 類感染

症に位置づけられることが明記されている。

- ✓ 感染症法上の位置づけの変更に伴う政策・措置の見直しについて、①患者等への対応と②医療提供体制については3月上旬を目途に具体的な方針を示すことが明記されている。
- ✓ ①患者等への対応として、入院・外来の医療費の自己負担分に係る一定の公費支援について、期限を区切って継続することとし、具体的な内容を検討する。
- ✓ ②医療提供体制として、入院や外来の取り扱いについて、幅広い医療機関で新型コロナウイルス感染症の患者が受診できる医療体制に向けて、必要となる感染対策や準備を講じつつ国民の安心を確保しながら段階的な移行を目指す。
- ✓ 外来については、位置づけの変更により、幅広い医療機関が新型コロナウイルス感染症の患者の診療に対応する体制へと段階的に移行していく。
- ✓ 入院については、感染症法の規定を根拠に講じられている入院措置・勧告が適用されないこととなる。入院調整も行政が関与するものから個々の医療機関の間で調整する体制へと段階的に移行していく。
- ✓ 今後、診療・検査医療機関から広く一般的な医療機関による対応への移行、外来や入院に関する診療報酬上の特例措置や病床確保料の取扱い、重症者等に対する入院調整のあり方、高齢者施設等への検査・医療支援など各種対策・措置の段階的見直しについて、調整を進める。
- ✓ ③サーベイランスについては、感染症法に基づく発生届は終了し、定点医療機関による感染動向把握に移行する。ゲノムサーベイランスを継続する。
- ✓ ④基本的な感染対策として、マスクについては、行政が一律にルールとして求めるのではなく、個人の主体的な選択を尊重し、着用は個人の判断に委ねることを基本として検討する。
- ✓ ⑤ワクチンについては、感染症法上の位置づけの変更にかかわらず予防接種法に基づいて実施することとなる。必要な接種については、引き続き自己負担な

- く受けられるようにする。
- ✓ ⑥水際措置として、検疫法上の「検疫感染症」から外れることとなる。
 - ✓ 新型インフルエンザ等対策特別措置法第 21 条第 1 項の規定に基づき、新型コロナウイルス感染症対策本部は廃止される。また、政府対策本部が廃止されたときは、特措法第 25 条の規定に基づき、都道府県対策本部についても廃止することとなる。
 - ✓ 政府対策本部の廃止後においても、感染状況の変化や新たな変異株の発生等に迅速かつ的確に対応するために、必要に応じて、「新型インフルエンザ等対策閣僚会議」を開催する。
 - ✓ 特措法に基づき実施している住民及び事業者等への感染対策に関する協力要請等の各種措置は終了する。
 - ✓ 感染に不安を感じる場合に検査を受ける旨の協力要請を行った場合に実施している一般検査事業は終了する。
 - ✓ 特措法に基づき設置された臨時の医療施設の取扱いについては、今後検討し、具体的方針を示す。
 - ✓ 「新型コロナウイルス感染症対策の基本的対処方針」についても廃止する。

(2) 沖縄県内における新型コロナウイルス感染症患者の発生等について【資料 1～7】

- 総括情報部から警戒レベル判断指標等の状況について報告があった。
 - ✓ 病床使用率は、2週間前の 43.8%から改善し、昨日は 30.2%と下がってきている。重症者用病床使用率についても、現在 4.3%となっている。
 - ✓ 前週比は現在 1 を下回る数値で推移している。
 - ✓ 人口 10 万人あたりの新規陽性者数も改善しており。現在 166.16 人まで減少している。
 - ✓ 新規陽性者数は、2/1 が 384 人、本日は 331 人で、先週より減っている状況を

維持している。

- ✓ 入院中の患者は2週間前 295 名、1週間前は 260 名となっており、直近では 200 名を切る状況となっている。
- ✓ 全国の「直近一週間の人口 10 万人当たり新規陽性者数」では、沖縄県は全国 47 位となっている。
- ✓ 沖縄県の年代別新規陽性者数の推移では、1/11 をピークに全年齢層で減少し続けている。
- ✓ 患者受入医療機関の就業制限について、今回の波では 400 名を超える休業者が出たが、2/1 時点で 192 名と、減少傾向。そのうち 112 名が看護師となっている。
- ✓ ワクチン接種状況について、1/31 時点では、1 回目、2 回目は 70% 台、3 回目は 51.2% で、4 回目が 28.9%、5 回目が 11.9% となっている。
- ✓ 県広域ワクチン接種センターについて、常設会場の NBC 沖縄会場は 2/4 まで、那覇クルーズターミナル会場は 2/26 までとなっている。理由として、本来業務（披露宴、国際クルーズ）再開等による。臨時会場（商業施設等）は、3 月まで、開設可能な場所で、引き続き接種を実施する予定。
- ✓ ノババックスの 1 回目接種については、次回接種まで 3 週間以上を要するため、2 回目接種難民を出さないためにも 1 月中で接種終了とする。希望者に対しては、ノババックスを取り扱っている市町村の個別医療機関を案内している。
- ✓ 沖縄県の年代別接種率について、3 回目～5 回目のうち、オミクロン株対応ワクチンの接種率は、70～99 歳の間では 50% 以上が接種済み、60～69 歳、100 歳以上の 40% が接種済みで、その他の年代ではあまり接種が進んでいない状況。
- ✓ 令和 4 年秋開始接種の接種対象者数及び接種実績では、10 月に 45,950 名、11 月に 119,137 名、12 月に 148,045 名が接種しており、1 月は 60,294 名が接種している。

- ✓ 出向き接種の状況、商業施設では2月にイーアス沖縄豊崎、沖縄コンベンションセンターでの接種会場を予定している。

(3) 県立病院の状況について

➤ 病院事業局より県立病院の状況について報告

- ✓ 2/1時点の県立病院の入院患者は40名で前回報告より45名減、前々回報告より25名減。県立病院が現在確保しているコロナ病床のうち、27.4%が稼働している。
- ✓ 県立病院の入院患者は、北部病院16名、中部病院9名、南部医療センター5名、宮古病院0名、八重山病院10名、精和病院0名となっている。非コロナ病床稼働率は県立病院全体で90.3%と依然高い利用率になっている。
- ✓ 北部病院では、北部地区医師会病院の診療制限の影響もあり、一般病床が不足している。現在、一部地域からの救急車受入を制限している。
- ✓ 中部病院では、病床が不足しベッドコントロールに難渋している。
- ✓ 南部医療センターではコロナの新規患者は減少、インフルエンザの陽性者が大多数を占める。救急からの緊急入院患者も入院できず、他院に転院させている状況。インフル・コロナ関連での休業者で病棟スタッフの労働喪失があり、業務がひっ迫している。
- ✓ 宮古病院では長期療養の休業者が多く看護師不足が課題になっているが、繰り上げ採用で1名確保することができた。2/1より地域包括ケア病床25床をスタートしている。
- ✓ 精和病院では全て通常運用ができています。
- ✓ 各県立病院のコロナ対応を行う医師と会議を行ったところ、県立病院のコロナ入院患者は、コロナのワクチン未接種や継続接種を行っていない患者が多く、入院期間が長引く傾向が見られるとの意見があった。今一度、県民に対しワク

チン接種を呼びかける必要がある。

(4) 宮古・八重山地域の感染状況について

- 宮古地方本部から宮古地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 今週の陽性者は6名で、前週が30名だったため、5分の1程度。3週連続で減少している。療養中の患者は8名、入院1名、宿泊療養施設療養中も1名。
 - ✓ 年齢層も全体的に減少しているが、多い順としては5～9歳、次いで10代となっている。ただし、学級閉鎖といった情報はない。発熱者の7割がインフルエンザとなっている。
 - ✓ 施設の発生状況は一週間で2施設。施設内療養者は2名で、こちらも減少している。
 - ✓ 今週、国立感染研究所の先生が来所され、コロナの振り返りについて一緒に行った。全数届出から定点化された際に問題がないかといった確認があったが、流行のトレンドに遅れはなく、宮古の規模であれば定点化しても全数把握と変わらないだろうと思われる。
 - ✓ 人員について、今後5類になるが、非常勤をいきなり0とするのではなく、段階的にできるようお願いしたい。

- 八重山地方本部から八重山地域の感染状況等について報告。
 - ✓ 直近一週間では60名の陽性者。前週99名だったので、前週比0.61倍。この中で、発生届出数は23人。前週31名だったので、前週比0.74倍と減少が続いている。
 - ✓ 年代階級別では割合が高い順に40代、20代、10歳未満となっている。
 - ✓ クラスタについて、1月中旬に発生した施設クラスターは、1/30でほぼ終息し、落ち着いている。
 - ✓ 離島での届出数は、竹富町で1件、与那国町で0となっており、移送について

は1月では発生していない。

- ✓ 宿泊療養施設について、1/28から0名となっている。
- ✓ インフルエンザについて、定点あたり28となっている。引き続き管内警報発令中。第2週から少し増加減少を繰り返して流行している。管内の学級閉鎖はとくにない。
- ✓ 今後の保健所体制については、本庁の保健所支援グループのミーティング等で共有しながら計画を立てていく。

(5) 空港PCR検査プロジェクト・TACO・RICCA等の状況【資料8】

➤ 文化観光スポーツ部より報告

- ✓ 空港PCR検査プロジェクトについて、1/23の週の受検者は979名で、前週比-132名。陽性者は4名で、前週比-17名。
- ✓ 空港別で見ると、下地島空港では横ばい、その他の空港での検査数は減少している。
- ✓ 那覇空港抗原検査について、検査件数は245名で、前週比-80名。陽性者数は3名で皆増。
- ✓ TACOについて、1/23の週の電話対応件数は23人で、うち健康相談・問診実施数は13人となっている。

(6) 質疑応答

- ✓ 病院事業局提案のワクチン接種の呼びかけについては、本日の知事コメントに含める形で対応する。

(1) 沖縄県対処方針の変更について

➤ 総括情報部より説明

- ✓ タイトルについては変更なし。要請期間は令和5年2月3日（金）から令和5年2月12日（日）としている。
- ✓ 現況について、沖縄県における直近1週間の新規陽性者数は1月11日をピークに急速に減少しており、それに伴い、50%に迫っていた病床使用率も2月1日時点で30.2%と改善している。新規陽性者数の減少に伴い、医療従事者の休業者数や高齢者施設等における療養者数なども改善している。感染を抑制し、医療ひっ迫の解消を確実なものとするために、県民・事業者の皆様へ引き続き県の方針に沿った取組をお願いしている。
- ✓ 3ページ目のワクチン接種の項目について、従来株とノババックスの組み合わせについては副反応が少ないことが示されているが、2価ワクチンとノババックスの組み合わせでの情報については、詳細な情報がないため、記載内容について一部変更している。
- ✓ 6ページ目のイベント開催について、国の対処方針変更に伴い、大声あり・なしで分けていた対策等について、削除している。

(2) 質疑応答

- ✓ 警戒レベルについて、病床使用率は2週間前に43.8%、1週間前に39.5%、昨日は30.2%と改善してきている中で、対処方針の要請期間の間に、レベルを見直した新たな対処方針の変更を行う可能性はあるのか。

→病床使用率については改善が見られ、レベル1に向かっているところではあるものの、医療全体のひっ迫としては未だ入院調整に苦慮しているところや、クラスターの対応に追われているところもあり、病床使用率の改善が見られても、今の対処方針については継続する方向で考えている。2/13以降の対処方針につ

いても、大きな変動がなければ、現行の方針を期間のみの変更とすることを検討している。

- 議論の結果、沖縄県対処方針について一部変更し、延長することを決定した。

4 その他

(1) 新石垣空港における国際線チャーター便就航について

➤ 土木建築部より報告

- ✓ 事業主体は石垣市、事業目的は、コロナ禍で令和2年以降途絶えている、新石垣空港離発着の国際航空路線の早期運航再開とインバウンド復活を目指し、石垣ー台北の国際線チャーター機を就航。石垣市及び台湾で3泊4日のツアー旅行を実施する。
- ✓ インバウンド側である石垣市では、2/10 に桃園国際空港→新石垣空港。乗客は、台湾プロ野球チームの楽天モンキーズ選手及び関係者、一般ツアー客。2/11～2/12 に石垣市営球場でキャンプ中の千葉ロッテマリーンズとの交流戦を行い、2/13 に新石垣空港→桃園国際空港。
- ✓ アウトバウンド側での台湾では、2/10 に新石垣空港→桃園国際空港。乗客は石垣市、市商工会、観光産業団体等、フリープラン等参加市民となっている。2/11～2/13 に国道5号高速道路サービスエリア施設内において、物産展の開催、石垣島観光PRなど行い、2/13 に桃園国際空港→新石垣空港。
- ✓ 検疫指定空港ではないことから、県は、国による検疫実施を依頼。
- ✓ 非検疫飛行場における検疫実施のため、県や市による協力体制を構築。検疫業務への協力として、入国前にコロナ陽性者が発生した場合、軽症者の県宿泊療養施設での受入、重症者の県立八重山病院での受入、外国人観光客受入に向けたTACO連携事業、多言語による情報発信の活用など。重症者の病院搬送は石

垣市消防本部により実施。

- ✓ エアラインに対しては、搭乗前にワクチン3回目接種証明書または陰性証明書の確認の徹底と、証明書類が不備な方への検査実施を要請。

閉 会